

平成 24 年度吸入毒性試験対象農薬（案）

1. 平成 23 年度農薬吸入毒性評価部会決定事項及び具体的対応
(決定事項)

平成 24 年度吸入毒性試験は、無人ヘリコプター防除における使用実績（別紙）及び毒性の観点から、カスガマイシン、アゾキシストロビン、エチプロールについて実施する。

(具体的対応)

なお、平成 23 年度の試験結果を踏まえ、平成 24 年度吸入毒性試験では、①試験条件の検討、②予備試験、③本試験を段階的に実施することとし、各段階で、農薬の物理化学的性状等により試験が実施できない場合には、2. の農薬を試験することについて検討する。

2. 平成 24 年度吸入毒性試験追加実施農薬の候補について

平成 23 年度試験を実施したトリシクラゾールのように、その物理化学的性状から吸入毒性試験が実施できなくなることが想定されることから、その場合には、下記の優先順位に基づき、試験を実施することとする。

- フルトラニル
- ブプロフェジン

使用実績では、バリダマイシン A、シラフルオフエンが多いが、バリダマイシン A はカスガマイシンと同じ抗生物質殺菌剤であり、シラフルオフエンはエトフェンプロックスと同じピレスロイド系殺虫剤であることから、系統が異なるフルトラニル、ブプロフェジンを優先とした。

なお、カスガマイシンについて試験実施できなくなった場合は、同じ系統であるバリダマイシン A を優先的に試験実施することとする。

無人ヘリ防除(水稻)における農薬の使用実績(平成21年度～平成23年度全国平均)

【殺菌剤】

順位	農薬成分名	系統名	使用実績 (1000ha)	ADI (mg/kg体重/日)	備考	
					亜急性吸入毒性試験 データの有無	モニタリング データの有無
1	フサライド	メラニン生合成阻害剤	270	0.04*	22年度試験実施	23年度実施
2	トリシクラゾール	メラニン生合成阻害剤	147	0.03*	試験実施不能	
3	フェリムゾン	その他の合成抗菌剤	128	0.019	23年度試験実施	
4	カスガマイシン	抗生物質殺菌剤	111		24年度試験実施予定	
5	アゾキシストロビン	メキシアクリレート系阻害剤	97	0.18	24年度試験実施予定	
6	バリダマイシンA	抗生物質殺菌剤	82		24年度試験実施候補 **	
7	フルトラニル	酸アミド系殺菌剤	48	0.087	24年度試験実施候補	
8	ペンシクロン	尿素系殺菌剤	18	0.053		
9	ジクロシメット	メラニン生合成阻害剤	12	0.005		
10	ジクロメジン	その他の合成抗菌剤	9			
11	プロベナゾール	その他の合成抗菌剤	8	0.02*		
12	メプロニル	酸アミド系殺菌剤	6	0.05		
13	ピロキロン	メラニン生合成阻害剤	6	0.015*		
14	フェノキサニル	メラニン生合成阻害剤	5	0.007		
15	チオファネートメチル	ベンゾイミダゾール系殺菌剤	3	0.12*		
16	メミノストロビン	メキシアクリレート系阻害剤	1	0.016		
17	イソプロチオラン	ジチオラン系殺菌剤	0.37	0.1		
18	シメコナゾール	ステロール生合成阻害剤	0.13	0.0085		

**：カスガマイシンが実施できない場合のみ優先

【殺虫剤】

順位	農薬成分名	系統名	使用実績 (1000ha)	ADI (mg/kg体重/日)	備考	
					亜急性吸入毒性試験 データの有無	モニタリング データの有無
1	ジノテフラン	ネオニコチノイド系殺虫剤	345	0.22	有	有
2	エトフェンプロックス	ピレスロイド系殺虫剤	154	0.031	有(90日間)	有
3	エチプロール	フェニルピラゾール系殺虫剤	73	0.005	24年度試験実施予定	
4	クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	70	0.097	23年度試験実施	
5	シラフルオフェン	ピレスロイド系殺虫剤	49	0.11		
6	プロプロフェジン	昆虫成長制御剤	48	0.009	24年度試験実施候補	
7	テブフェノジド	昆虫成長制御剤	45	0.016		
8	MEP(フェニトロチオン)	有機リン系殺虫剤	11	0.005*	有	有
9	チアメキサム	ネオニコチノイド系殺虫剤	4	0.018		
10	クロマフェノジド	昆虫成長制御剤	1	0.27		
11	BPMC(フェノプカルブ)	カーバメート系殺虫剤	0.7	0.012*		
12	DEP(トリクロルホン)	有機リン系殺虫剤	0.6		有	

*出典：厚生科学審議会答申(平成15年水道水質基準制定の際に参照した暫定的なADI)